

平成 25 年度熊本大学業務改善表彰

- 熊本大学公式/教職員ウェブサイトシステムの構築と運用 -

谷口勝紀^{A)}，青木敏裕^{A)}，上田誠^{B)}，仲間祐貴^{B)}

^{A)}電気情報技術系，^{B)}環境建設技術系

1 はじめに

熊本大学業務改善表彰は、医療活動の表彰の対象となる活動を除く管理運営面における業務の効率化及び合理化を目的とする取組みについて、特に顕著な功績又は模範として、推奨するにふさわしい業務改善努力があった職員又はグループに対して表彰を行うものである。熊本大学公式/教職員ウェブサイトシステムの構築と運用活動において、技術部 4 名を含む合計 18 名の連名で受賞したので、ここに報告する。

2 支援概要

ウェブサイトシステムは、最新情報が素早く提供され、必要な情報を即座に受け取れることが重要であり、このことは学外に留まるものではなく、学内においても同様である。これまで、ウェブサイトシステムを用い、事務情報を整理し、提供に努めるなどの一定の成果は上げてきたが、運用上の様々な問題、例えば、ウェブサイトシステムへの情報掲載可能者の異動に伴い、情報提供に時間差が生じるなど、最新情報を安定的に、提供し続ける目的は達成できずにいた。

本取組は、個別のシステムで運用されてきた大学公式ウェブサイト(以下、公式サイト)と教職員向けの事務情報等の提供サイト(以下、教職員サイト)のシステム統合を行うことで、同一の操作における学内外へ向けた情報発信を実現し、さらに、情報を保持する担当職員自身が情報提供を行うことで、素早くかつ安定的な情報発信に努めたいという要望を受け、事務職員、技術職員、教員により組織された公式/教職員ウェブサイトシステム再構築チームを編成し作業にあたり、公開後は、学内組織の協力体制の下で運用を行っている。この成果は専門知識を有する総合情報基盤センターの教員のアドバイスの下、事務職員・技術職員が通常業務に付加する形で取り組み、実現したものである。

3 まとめ

ウェブサイトのコンテンツ構造の再設計を行ったことで、各情報保持者を明確にでき、更新頻度を上げることができた。

ウェブを利用した情報発信を、公式/教職員サイトシステムを統合し、学内外への情報発信の容易化を実現した。情報掲載については、編集者・承認者・総合管理者の 3 重チェックを行う業務フローを作成したことで、セキュリティの確保や人為的ミスによる誤情報発信や情報漏えい等を防ぐことを可能とした。さらに、入力テンプレートを利用することで、ウェブサイト内のデザインを保つことができ、大学ブランドの統一、ウェブアクセシビリティ・ユーザビリティが向上した。各ページには、情報保有者への問い合わせフォームを設置したことで閲覧者からの質問に敏速に対応できるようにも設計している。

本取組により、昨今の主要な情報発信メディアであるウェブを、より容易に学外者、学内教職員が利用できるよう改善が為され、タイムリーな情報発信の促進にも大いに貢献できたと自負している。

今回の受賞にあたり、開発プロジェクト関係者ならびに学内の利用者へ感謝いたします

参考 URL : <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

http://private.jimu.kumamoto-u.ac.jp/hp/keiei_kikaku/hyosho.html